



東京や久留米のホテルで修行した技を活かし、丁寧に作られた洋食を提供。人気のチキングリルセット(1,029円)は、鶏もも肉をまるごと醬汁に使用。ランチは630円から。

●レストランポテト  
 みやま市高田町濃施384-8  
 ☎0944-22-2492  
 (開駅より徒歩8分)



昭和41年創業の国道沿いのドライブイン。鶏ガラと豚骨をブレンドしたスープにダシを加えたボリューム満点の「ちゃんぽん(550円)」は創業当時の人気メニュー。ホルモンやとり天などの定食(各700円)も充実。

●五次郎  
 みやま市高田町濃施629  
 ☎0944-22-5591  
 (開駅より徒歩16分)



池を中心とした広い敷地にパットゴルフ場や全長100mのローラースライダー(子ども用)など遊具施設がそろった公園。池の真ん中から吹き出す大噴水と、橋の中央から水を出す「水仙橋」の放水は、30~60分間隔で見ることが出来る。

●高田濃施山公園  
 みやま市高田町下楠田480  
 ☎0944-22-4886  
 (開駅より徒歩20分)



## Vol.39 開駅 西鉄渡瀬駅

ひらきえき にしてつわたぜえき



駅前名物探しの旅もついに4度目の師走がやってきました。今回訪れる西鉄渡瀬駅からは、いよいよ大牟田市に足を踏み入れます。一年の無事を感謝するために神様にご挨拶に行ったり、噂のお好み焼きに挑戦したりと、忙しく駆けめぐります。



高専ダゴ発祥店で修行した北原さんが営む店。肉やイカ、玉子が入ったスペシャル(1,430円)は3人前以上のボリューム!生地に混ぜ込んだ細めの蒸し麺がカリッと焼けて食感のアクセントとなる。食べきれなかった分は持ち帰りも可能だ。

●高専ダゴ倉永店  
 大牟田市倉永1678  
 ☎0944-58-1711  
 (西鉄渡瀬駅より徒歩3分)



創建1,100年以上という歴史ある神社。まるで壁のような急勾配の階段は約150段あるとか。本殿前には、左右ともに人と犬が対になった珍しい狛犬があり、境内からは有明海を望むことができる。

●熊野神社  
 みやま市高田町濃施867  
 (開駅より徒歩13分)



数々のコンテストに輝く和洋菓子専門店。大きな栗が丸ごと入った栗饅頭(147円)は初代からの名物菓子。シュー生地を2時間かけて煎餅のように固く焼いた「みやまのじいちゃんのげんこつシュー(150円)」も好評だ。

●菓子工房あづまや  
 みやま市高田町濃施504-2  
 ☎0944-22-5545  
 (開駅より徒歩13分)



生産段階から焙煎まで品質管理が徹底された「スペシャルティコーヒー」を専門に扱うコーヒー豆店。世界各国から仕入れる豆の特性に合わせて焙煎したコーヒーは、後味さわやか。毎年1月には生産国コンテストで入賞した豆も入荷する予定。

●真澄コーヒー  
 大牟田市倉永1663-3  
 ☎0944-58-7525  
 (西鉄渡瀬駅より徒歩1分)



**駅メモ**

**開駅**  
 【キロ程】西鉄福岡(天神)駅より66.6km  
 【平均乗降者数】615人/1日

**西鉄渡瀬駅**  
 【キロ程】西鉄福岡(天神)駅より67.9km  
 【平均乗降者数】400人/1日

開駅・西鉄渡瀬駅周辺の情報はココでチェック!  
 タウンライターが沿線の情報をお届け!

西鉄沿線 検索

西鉄沿線 web  
 http://www.ensen24.jp/

次は再び西鉄電車に乗ってひとつ先の西鉄渡瀬駅へ。この近くには超巨大なお好み焼きで有名な「高専ダゴ」があります。さつき食べたばかりでしたが、この名物を食べずには帰れません。高専ダゴは、熊本県荒尾市で食堂を営んでいた内田艶子さんが、いろいろな注文を一枚のお好み焼きに合体させたのが始まりとか。見ものは鉄板を埋め尽くすほどのお好み焼きを返す瞬間です。「たまりに失敗することもありますが」と店主の北原さんは言いますが、見事に着地成功! おまけにマヨネーズで『にしてつニューース』と書いていただいで大満足です。

地元の人に何十年と愛されて来たグルメを味わい、懐かしさと共に元気をもらえた今年最後の駅前名物の旅。さあ、来年も良い名物に出会えますように!

左右に広がる田畑の中をほぼ一直線に走りながら、電車は第一目的の地の開駅に到着。駅を出て国道沿いに洋食屋さんを発見しました。ちょっとクラシカルな店構えをもつ地元でも人気の「レストランポテト」です。店主の原さんは、いくつものホテルで腕を磨いたベテランシェフ。ソースはタマネギや生姜を使って、食べやすく和風にアレンジしているとか。注文したチキングリルは、パリッとソテーされた皮と、ジューシーな肉汁がとてもデリシヤス!

いつものごとく、まずはお腹が満たされ、運動がてらに山の方へ行ってみることにしました。向かった先は「熊野神社」。目の前に現れたのは、今までに見たこともないほど超急勾配な階段でした。それは勾配と言うより、ほぼ直角に近い壁のような石段で、満腹状態の僕の心を試すかのようでした。しかし実際は登れないように柵があり、神社までは脇にちゃんと坂道があります。坂を登りきると境内からは平野の先に有明海が見えました。これはなかなかの眺めです。さらに神社の奥へ進むと「高田濃施山公園」につながついていました。公園には池を中心にローラースライダー、バーベキュー施設、郷土資料館などが集まっています。公園を散策していると、池から勢いよく水が噴出してきました。その高さは、ゆうに10m以上!山の麓からも見えるほどです。

